

## 大腸がん検査及び前立腺がん検査結果の誤通知について

笠間市立病院で実施している「生活習慣病予防健診」「企業健診」「人間ドック」の大腸がん検査(免疫便潜血検査2日法)及び前立腺がん検査において、令和元年10月29日に次の通り、誤って記載した検査結果を送付していることが判明いたしました。

- 大腸がん検査
  - ・「要精密検査」であるところを「異常なし」と通知 4件
  - ・「要精密検査」であるところを「空欄」で通知 3件
  - ・「異常なし」であるところを「空欄」で通知 9件
- 前立腺がん検査
  - ・「要精密検査」であるところを「空欄」で通知 1件
  - ・「異常なし」であるところを「空欄」で通知 44件

### 1 結果に誤りが判明した検査

- (1)検査名:「生活習慣病予防健診」「企業健診」「人間ドック」の大腸がん検査(免疫便潜血検査2日法)及び前立腺がん検査
- (2)受診者数: 大腸がん検査 606名  
前立腺がん検査 64名
- (3)実施期間:平成30年4月1日から令和元年10月31日
- (4)誤った経緯及び原因:
  - 1、大腸がん検査結果が「要精密検査」であるところを「異常なし」と通知
    - ・健診システムにおいて、検査結果取り込み時に自動でABC判定を行っているが、協会けんぽコースの判断基準値のマスターの設定に誤りがあり、便潜血2日目の結果が自動判定されていなかったシステムエラーが原因
  - 2、大腸がん検査結果が「要精密検査」又は「異常なし」であるところを「空欄」で通知
    - ・検査結果取り込み時に、手入力をする場合があり、マスターが読み込めない書式で入力をしたことにより空欄となる人為的エラーが原因。
    - ・大腸がん検査の検査結果が入力されていない状態で自動判定し、後日結果を入力した際、再度の自動判定を行わなかったため空欄となる人為的エラーが原因。
  - 3、前立腺がん検査結果が「要精密検査」又は「異常なし」であるところを「空欄」で通知
    - ・健診システムにおいて自動判定する際、基準値が登録されていないことから自動判定することができずに空欄となるシステムエラー

### 2 受診者への対応

- (1)11月13日以降、要精密検査と通知すべきであった8名の方に連絡を取り、謝罪と正しい検査結果をお知らせいたしました。またそれと同時に精密検査の受診のご案内させていただきました。なお、精密検査の費用については、自己負担なしでお受けいただけるよう調整しております。
- (2)異常なしであるが空欄で通知した方に対して、正しい結果通知書を送付しております。

### 3 再発防止について

- (1)健康診断のフローの見直しとチェック体制の強化をまいります。
- (2)健診システムにおいてエラーや空欄など異常がある場合にはアラームが通知されるようシステム改修をまいります。

### 【山口市長のコメント】

このたび、笠間市立病院が実施した大腸がん検査及び前立腺がん検査において、多くの方に誤った受診結果をお知らせしてしまいました。ご本人はもとより、ご家族、関係者の皆様に、多大なる不安を与えたことを、病院開設者として深くお詫び申し上げます。

今後、チェック体制の強化など再発防止に向けて取り組んでまいります。

この件に関するお問い合わせ

笠間市立病院事務局 担当:後藤

電話番号:0296-77-0034 ファックス番号:0296-77-0952 e-mail:byoin@city.kasama.lg.jp